



2020年8月11日

各位

会社名 日本農薬株式会社
 代表者名 代表取締役社長 友井 洋介
 (コード: 4997、東証第1部)
 問合せ先 管理本部総務・法務部長 永井 統尋
 (TEL. 03-6361-1400)

業績予想および配当予想に関するお知らせ

2020年7月9日の2020年3月期決算発表時において未定としておりました、2021年3月期連結業績予想および配当予想について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想について

(1) 2021年3月期 第2四半期(累計) 連結業績予想(2020年4月1日～2020年9月30日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	27,000	300	△200	200	2円54銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績	—	—	—	—	—

(注) 当社は、2019年12月20日開催の第120回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期を9月30日から3月31日に変更いたしました。従いまして、2020年3月期は6カ月間です。これに伴い、比較対象となる2020年3月期第2四半期連結財務諸表を作成していないため、前期実績については記載しておりません。

(2) 2021年3月期 通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	65,300	3,000	2,400	1,800	22円85銭
増減額(B-A)	—	—	—	—	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	35,674	4,005	4,004	1,477	18円75銭

(注) 当社は、2019年12月20日開催の第120回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期を9月30日から3月31日に変更いたしました。従いまして、2020年3月期は6カ月間です。

(3) 連結業績予想の理由

2021年3月期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症が世界的に拡大している状況に鑑み、その影響を精査中であったことから未定としておりました。今般、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき連結業績予想を算定いたしましたので公表いたします。

今後の見通しにつきましては、国内外ともに新型コロナウイルス感染症拡大の終息が見通せず、企業収益や雇用環境などの悪化により世界経済の減速が懸念されます。

当社グループの中核事業である農薬事業は、食料安定化供給を支える農業生産の根幹に関わるビジネスであるため、他の業種に比し影響は限定的であると考えられますが、生産、調達などへの直接的な影響や農業を取り巻く環境変化による間接的な影響が想定されます。

事業活動継続のための施策に取り組み、中期経営計画「Ensuring Growing Global 2021 (EGG2021) グローインググローバルを確実に！」を推進し、収益性の向上とグループ力強化を目指してまいります。

報告セグメント別の次期の経営方針は、以下のとおりです。

【農薬事業】

国内農薬販売では、農薬市場の縮減傾向と販売競争の激化など依然厳しい状況が続くものと考えられます。レイミーの AI 病害虫雑草診断アプリケーションを始めとした技術力と営業力の融合による提案型営業スタイルを確立させ、適用拡大による園芸用殺菌剤ピラジフルミド（国内商品名「パレード」）などの普及拡販を目指します。

海外農薬販売では、Nichino India Pvt.Ltd.のインド国内における販売基盤の底上げと原体製造機能強化に取り組むとともに新規水稻用殺虫剤ベンズピリモキサシ（商品名「オーケストラ」）の開発を加速します。米州では、Nichino America,Inc.において除草剤オルトスルファミロン（商品名「フェニックス」）の適用拡大やメキシコビジネス強化による事業拡大に取り組めます。また、グループ内のシナジー最大化の一環として、ブラジルの現地子会社による園芸用殺虫剤フルベンジアミド（国内商品名「フェニックス」）の開発を着実に推進します。さらに、Sipcam Nichino Brasil S.A.を中心にブラジルでの普及販売体制の確立に努め、当社開発品目の拡販を目指します。

【農薬以外の化学品事業】

化学品事業では、シロアリ薬剤分野において株式会社アグリマートとの協働を強化し、主力品目の拡販と新たな販路開拓による事業基盤の拡大を目指します。また、医薬品事業では、販社との協働による医療機関への情報提供を強化し、ルリコナゾールの爪白癬分野での拡販を目指します。

以上の各報告セグメントの事業環境を踏まえ、2021年3月期第2四半期の業績予想は、売上高270億円、営業利益3億円、経常損失2億円、親会社株主に帰属する四半期純利益2億円、2021年3月期の業績予想は、売上高653億円、営業利益30億円、経常利益24億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円であります。

2. 配当予想について

(1) 2021年3月期配当予想

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	7.50	—	7.50	15.00
当期実績	—				
前期実績 (2020年3月期)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 当社は、2019年12月20日開催の第120回定時株主総会で「定款一部変更の件」が承認されたことを受け、決算期を9月30日から3月31日に変更いたしました。従いまして、2020年3月期は6カ月間です。

(2) 配当予想の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営課題の一つとして認識しており、長期的な観点に立ち、事業収益の拡大と財務体質の強化を図ることによって企業価値の向上に努め、株主の皆様に対して安定的かつ継続的な利益配当を行うことを基本方針としております。

2021年3月期の配当予想につきましては、業績予想と同様に未定としておりましたが、当社の配当方針および今回算定した2021年3月期連結業績予想を勘案し、中間配当予想および期末配当予想をそれぞれ1株につき7円50銭といたします。

(注) 上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上